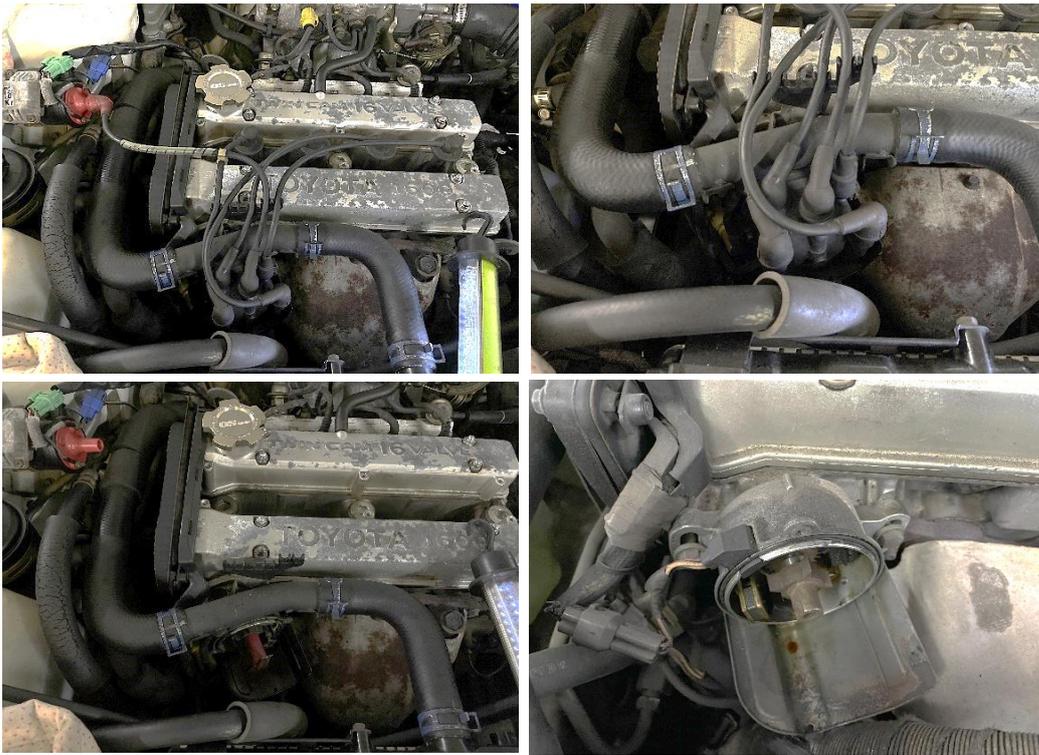


AT160 4A-G High-Performance Coil Direct Ignition Kit 取り付け説明書

商品内容：専用イグニッションコイル(TM00100-2+A) 4本、コイルベースブラケット (HPD101) 1枚
専用ローター (HPD103) 1個、専用ディスビキャップ (HPD105) 1個、両面テープ 2枚
コントロールユニット (CPT001) 1個、200mmタイラップ 10本、コイルキャップ 1個
専用ハーネス (FDI002H) 1本、AT160系信号ハーネス (HPD107-K5) 1本、M6X10高ナット 4個
電源ハーネス110cm (DP032) 1本、VSD L型アルミブラケット 1個
6X12 フラジボルト 2本、6X15 フラジボルト 1本、6X35 フラジボルト4本、M6 フラジナット 5個
M6-M8アースケーブル 80cm 1本、スルーコネクター (VH1028) 1個
6X15 SUS WAボルト 6本、M6 SUS SPワッシャー 4個、

- 1、整備書に従い既定の点火時期に調整をしてください。
- 2、ハイテンションコード・センタープレート・ディスビキャップ・ローターを外してください。



- 3、専用ローター (HPD103) と専用ディスビキャップ (HPD105) を取り付けてください。



ローターを真っ直ぐ押し込まないと割れてしまいますので、特に慎重に作業をしてください。
 ディスビに遮熱カバーの無い場合には、別売のカバーを必ず取り付けてください。



HPD103

HPD105

- 4、コイルベースプレートに6X35フランジボルトを入れ、M6 SUS SPワッシャー・10mm高ナットにて固定してください。



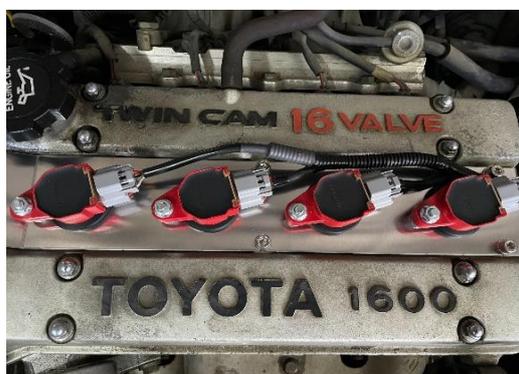
- 5、コイルベースプレートをM6X15 SUSボルトにて固定してください。



- 6、イグニッションコイルをしっかりと差し込み付属のM6フランジナットで固定してください。



- 7、コネクターを入れてください。



8、付属のアースケーブルのM8側を矢印位置に付属の6X12フランジボルトで固定してください。



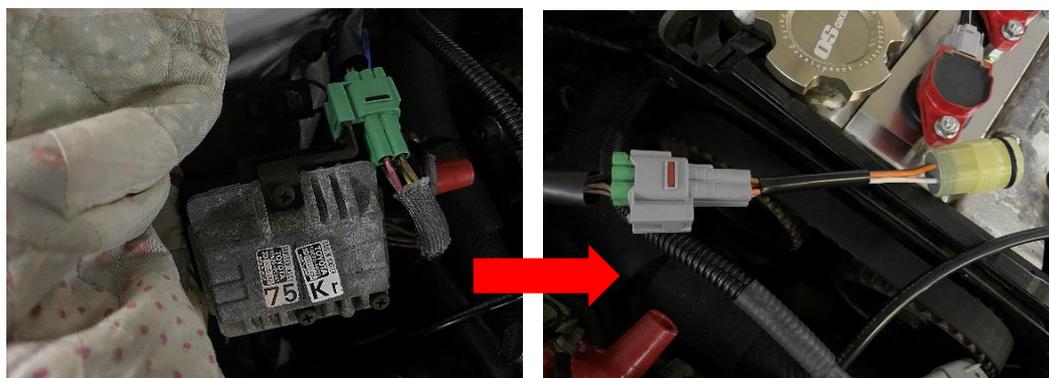
ここにアース不良がありますとエンジンが始動できません



コイルハーネスは、青矢印のようなハーネスとともに付属のタイラップで必ず固定して可動部に絡んだり排気マニホールド接触する事の無いようにしてください



9、イグナイターの4ピンコネクターを外し、付属のAT160系信号変換ハーネス（HPD107-K5）を接続してください。



10、コイルハーネス6Pコネクターと専用ディスビキャップからの3Pコネクターを4Pコネクターをそれぞれ接続してください。



11、コントロールユニットからのアース線とメインハーネスからのアース線を矢印位置アース線と共締めしてください。



12、アースケーブルM6側をバッテリーのマイナス端子に接続してください。

No,4



13、電源ハーネス（DP032）をバッテリーのプラスターミナルに接続し、反対側はコントロールユニットの赤線に接続してください。



配線が弛んで、可動部などに接触しない様に配線の取り回しをして、タイラップで固定して下さい。コントロールユニットまではインテークマニホールドの上を這わせてください。



14、13で取り付けた（DP032）とコントロールユニットの平ギボシ端子と接続してください。



15、VSDL型ブラケットを画像位置にM6X15フランジボルトにて固定してください。この時、アクセルワイヤーに触れない様に少し角度を付けて固定してください。



16、付属の両面テープを2枚重ねにしてコントロールユニットに貼り付け、L型ブラケットに固定してください。



17、イグニッションコイルにコイルキャップを取付けてください。



この時、エアーが入らない様に！！



18、8・13を参考にハーネスをタイラップで固定してください。



ハーネスを弛ませたままにしておくと
非常に危険ですので、必ず固定してください。



ディスビからの信号ハーネスもタイラップで必ず固定して可動部に絡んだり排気マニホールド接触する
事の無いようにしてください

19、エンジンを始動し、異常のないことを確認して作業完了です。



重要注意事項

ピックアップに使用している磁石は、高熱に対応していないため
排気マニホールドがディスクと隣接している車両は遮熱版を取り付けてください。

ピックアップの反応が悪くなるとエンジン始動が困難となりますので
特にご注意ください。

ピックアップ用磁石は単品での販売がございますのでお問い合わせください。

本製品取り付け時には必ずスパークプラグも新品に同時交換してください。

**エンスト時などのエンジン再始動の場合には、ACCでは無く必ず
キーOFFにしてから再始動してください。（これを守らないとエンジンが掛かりません）**

取り外した部品は、ノーマルに戻す際に必要となりますので大切に保管
してください。

T.M.WORKS